株式会社メガチップス

2027年3月期 第2四半期 決算説明

https://www.megachips.co.jp/

2026年11月

目　　次

1. 2027年3月期第2四半期 業績報告　… 3
2. 2027年3月期 業績予想　…… 9
3. 2027年3月期・中長期経営方針　…… 12

MegaChips

2027年3月期第2四半期 業績報告

MegaChips

2027年3月期第2四半期

連結業績（P/L）サマリー

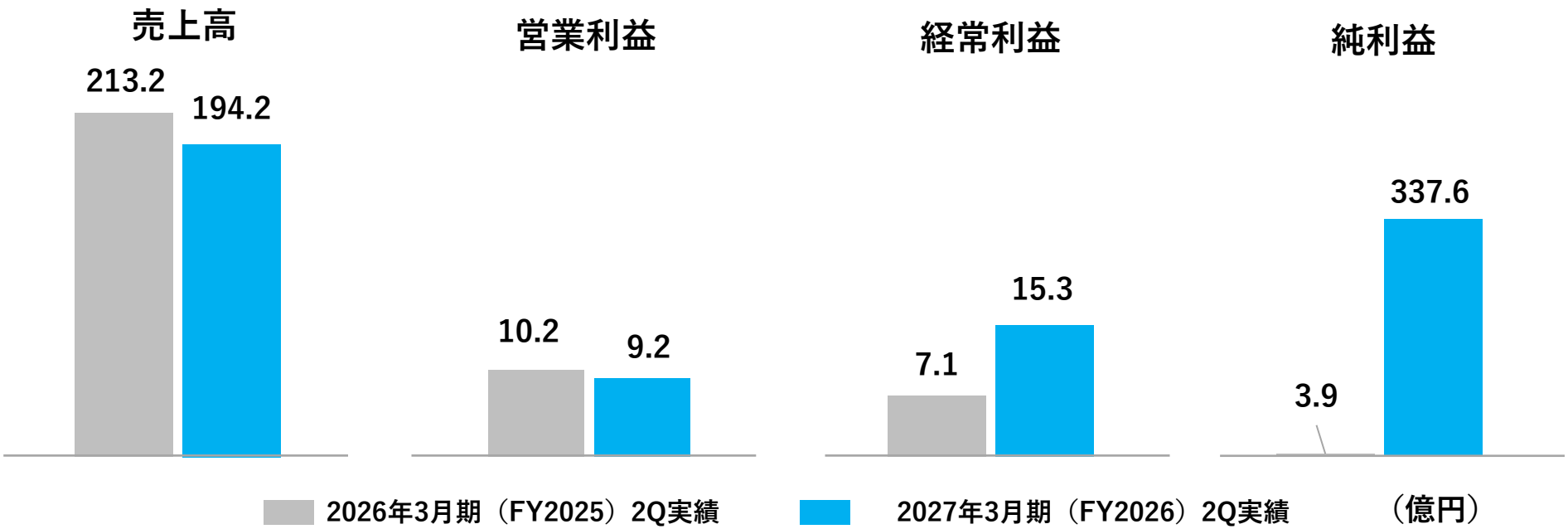
（単位：百万円）		2026/3期 (FY2025) 2Q実績	2027/3期 (FY2026) 2Q実績	前年同期 増減率 (%)	2027/3期 (FY2026) 通期予想数値 (2026/5/14公表)
連結	売上高	21,328	19,426	△8.9%	42,000
	売上原価	17,486	15,364	△12.1%	
	販売費及び一般管理費	2,813	3,142	+11.7%	
	営業利益	1,028	920	△10.6%	2,500
	経常利益	710	1,536	+116.2%	2,000
	親会社株主に帰属する当期純利益	398	33,763 ※1	－	33,000
	1株当たり利益（円）	24.04	2,370.18	－	2,205.74
調整後営業利益		1,028	1,530 ※2	+148.7%	
為替レート：米ドル		148.88円	157.35円		140.00円

※1 2027/3期は、1QのSiTime社株式の一部売却により特別利益として投資有価証券売却益484億円を計上
※2 2027/3期の調整後営業利益は、 SiTime社株式の一部売却による投資有価証券売却益の外形標準課税に伴う租税公課6.1億円を除外

MegaChips

2027年3月期第2四半期

連結業績（P/L）詳細

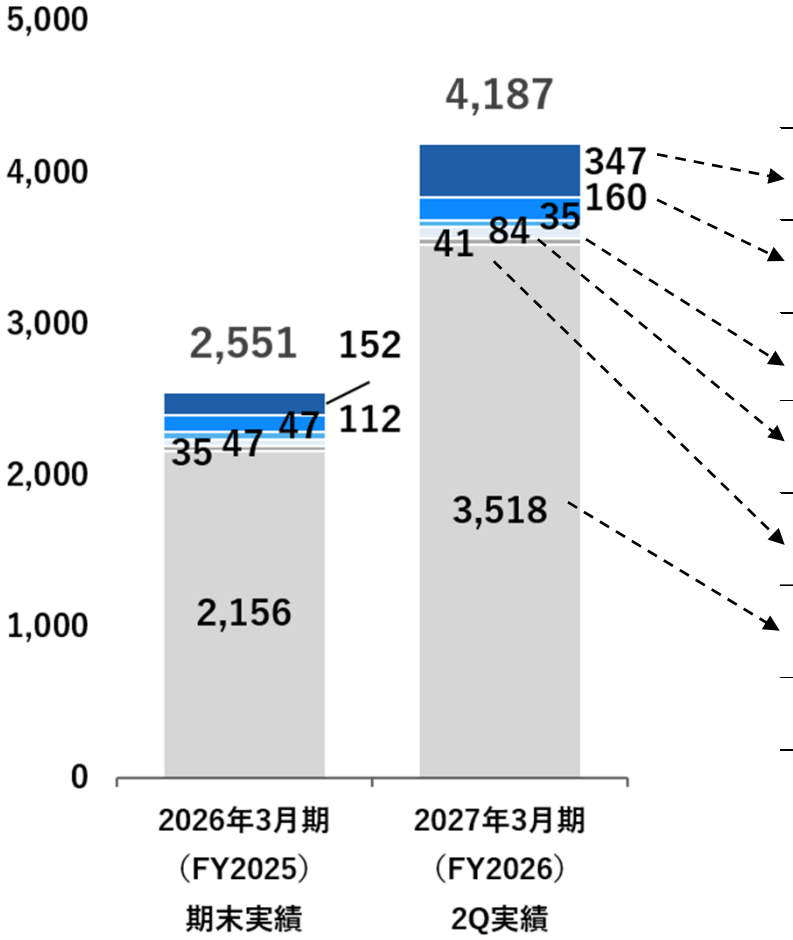


売上高　△19.0億円	営業利益　△1.0億円	経常利益　＋8.2億円	純利益　＋333.6億円
【対前年度　主な増減理由】 ・アミューズメント事業は、製品売上が前年比で減少。 ・ASIC事業は、受託開発売上（NRE売上）が対前年で微減となった一方で、製品売上が前年比で増加。	【対前年度　主な増減理由】 ・売上総利益が増加した一方で、販売費及び一般管理費が増加。 ・なお、当期にはSiTime社株式売却益に対する外形標準課税6.1億円が販管費として計上されている。	【対前年度　主な増減理由】 ・投資有価証券評価益の増加。	【対前年度　主な増減理由】 ・経常利益の増加。 ・SiTime社株式売却益484億円を計上。 ・第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、過去最高益を更新。

MegaChips

2027年3月期第2四半期

財政状態（資産）



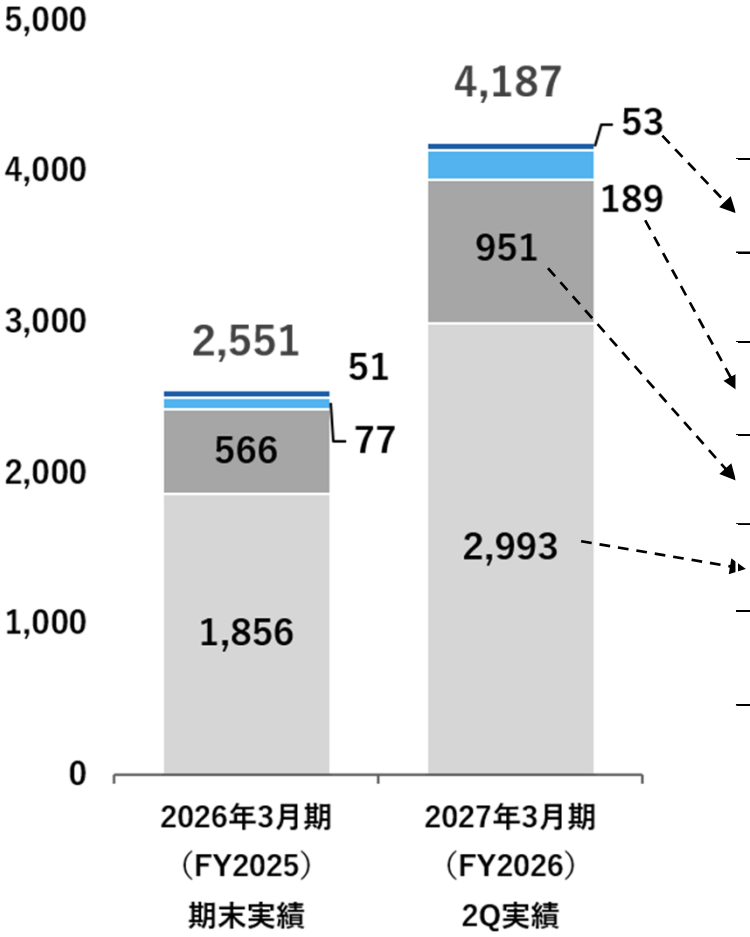
（単位：億円）	FY25 期末実績	FY26 2Q実績	増減 （FY25→FY26）	増減率 （増減÷FY25）
現金及び預金	152	347	+194	+127%
受取手形及び売掛金	112	160	+48	+42%
たな卸資産	47	35	△ 11	△24%
その他の流動資産	47	84	+36	+76%
有形、無形固定資産	35	41	+5	+16%
投資その他の資産	2,156	3,518	+1,362	+63%
資産合計	2,551	4,187	+1,635	+64%

MegaChips

2027年3月期第2四半期

財政状態（負債・純資産）

（億円）

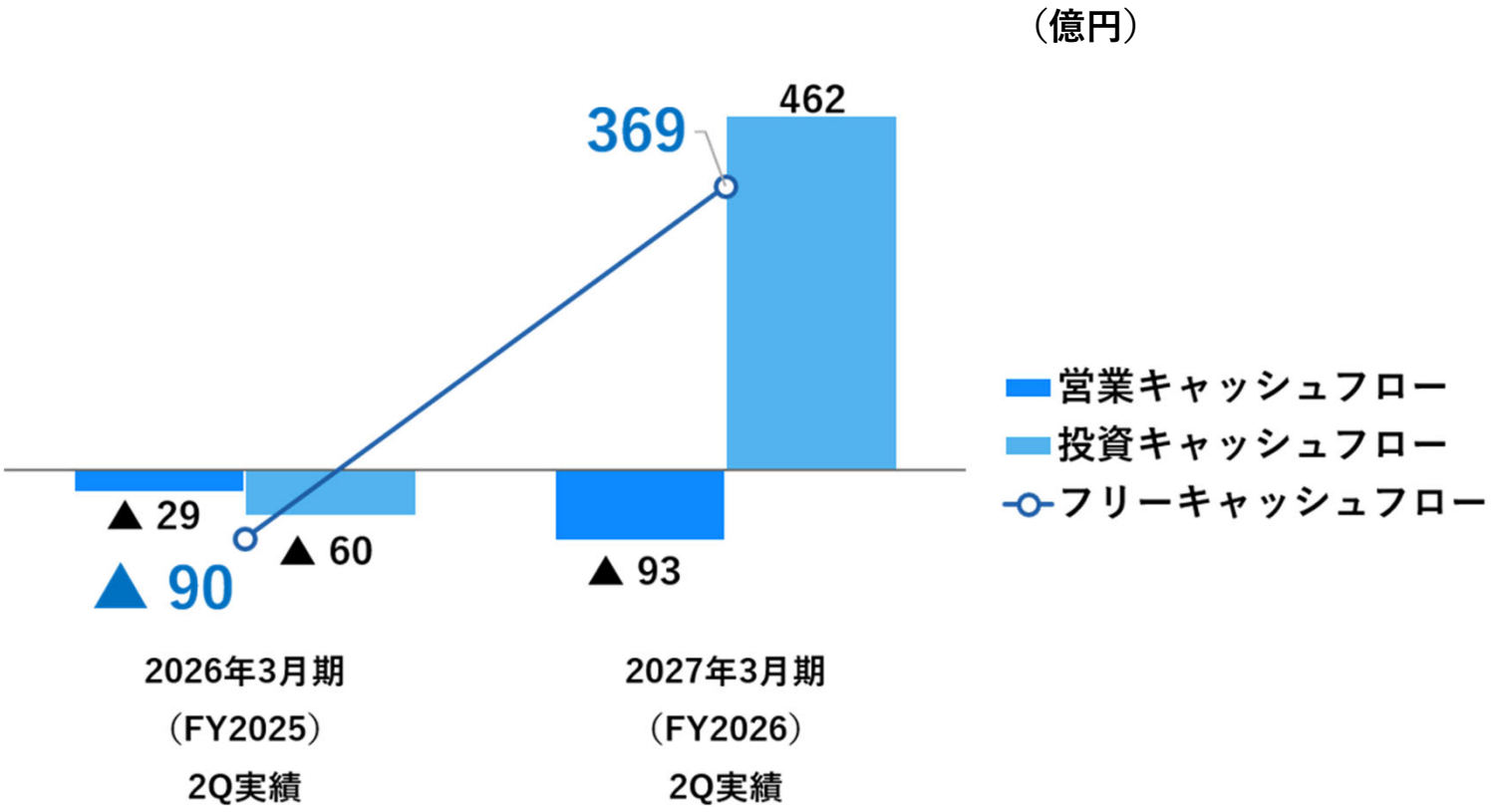


（単位：億円）	FY25 期末実績	FY26 2Q実績	増減 （FY25→FY26）	増減率 （増減÷FY25）
支払手形及び買掛金	51	53	+1	+2%
有利子負債	0	0	―	―
その他流動負債	77	189	+112	+146%
固定負債	566	951	+384	+68%
純資産	1,856	2,993	+1,136	+61%
負債・純資産合計	2,551	4,187	+1,635	+64%

MegaChips

2027年3月期第2四半期

キャッシュ・フロー



2027年3月期 業績予想

MegaChips

2027年3月期 業績予想

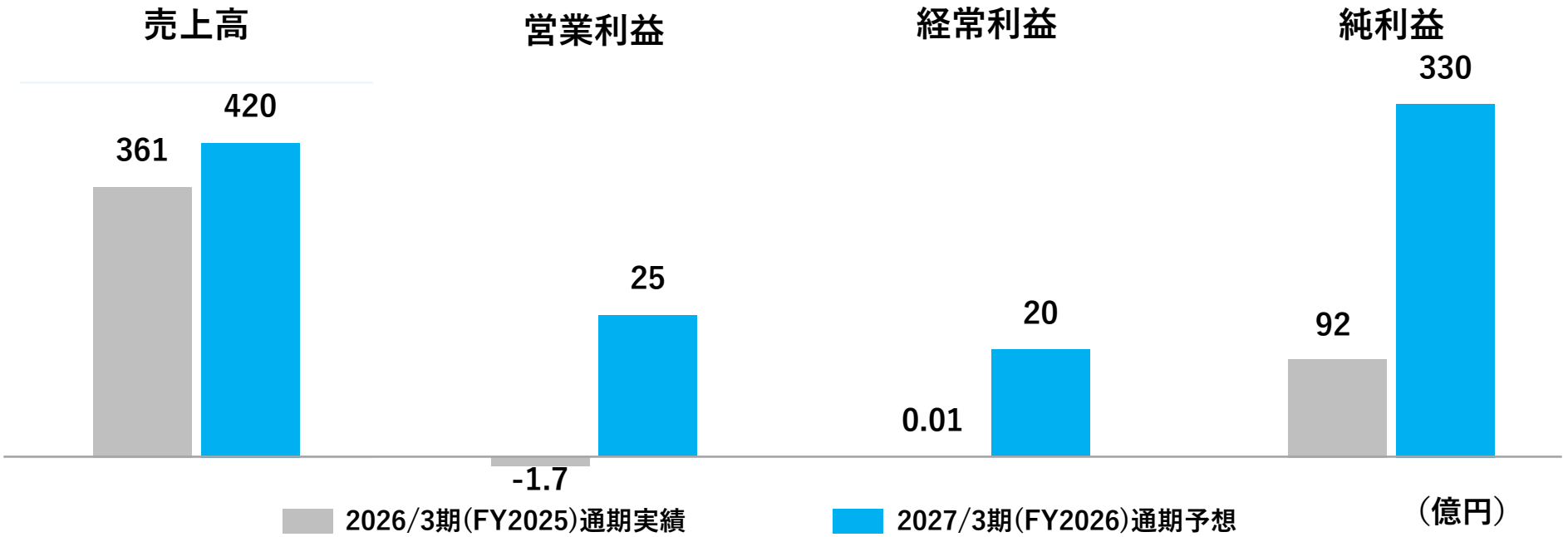
持続的な成長フェーズへ。
徹底したコスト管理と高付加価値サービスへの集中投資により、着実に黒字化を実現します。

（単位：百万円）	2026/3期 (FY2025) 通期実績	2027/3期 (FY2026) 通期予想
売上高	36,169	42,000
営業利益	△174	2,500
経常利益	1	2,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,284	33,000
1株利益（円）	578.31	2,205.74
為替レート：米ドル	159.88円	140.00円

※ 2026年3月期は、SiTime社株式の一部売却により特別利益として投資有価証券売却益151億円を計上。
※ 2027年3月期は、SiTime社株式の一部売却により特別利益として投資有価証券売却益484億円を計上。

MegaChips

2027年3月期 業績予想（P/L）詳細



売上高　対前期増減率
＋58億円（＋16.1%）

【対前年度　主な増減理由】
- アミューズメント事業は、顧客需要の増加を見込む。
- ASIC事業は、顧客需要の下げ止まりによる製品売上の回復と、国内海外双方での受託開発売上(NRE)増加を見込む。

営業利益　対前期増減率
＋26億円（－）

【対前年度　主な増減理由】
- アミューズメント事業の売上増に伴う利益増と、ASIC事業は売上増と利益率の改善による利益増で利益のV字回復を目指す。

経常利益　対前期増減率
＋20億円（－）

【対前年度　主な増減理由】
- 営業利益増により前年度比大幅増益を見込む。
- 営業外損益は赤字見込みとし、営業利益に対して経常利益の減少を見込む。

純利益　対前期増減率
+238億円（+255.4%）

【対前年度　主な増減理由】
- 経常利益の増と、SiTime社株式の一部売却による特別利益として投資有価証券売却益484億円を見込む。（昨年度のSiTime社株式の売却益は151億円。）

MegaChips

2027年3月期・中長期経営方針

MegaChips

中長期経営計画の進捗状況

事業戦略と財務戦略の双方に取組み、事業収益力の強化と自己資本の適正化を図り、企業価値向上を目指す。

事業戦略

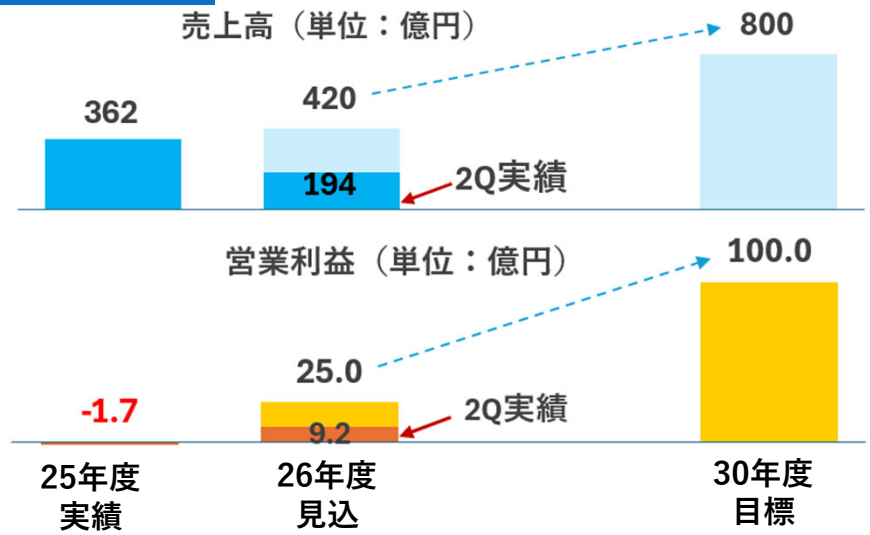
売上、営業利益、純利益の拡大

- 既存事業の基盤強化投資（人材、研究開発、グローバル展開）⇒　ASIC事業の収益力拡大、ASSP事業の収益化
- 新規事業の立ち上げと収益事業への育成　⇒　ソフトウエア事業、ソリューション事業の拡大へのチャレンジ

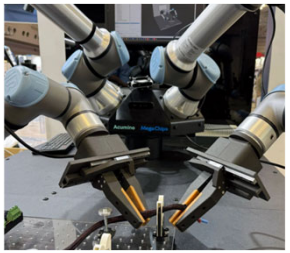
中長期期間で積極的な事業成長投資を実行することで、事業ポートフォリオを改革して企業収益力を強化する。

- **既存事業の収益力強化の取組み**
  売上、営業利益のV字回復取組み⇒2Q終了時点で順調に進捗
- **新規事業立ち上げ、育成**
  米国Acumino社、米国CargoSense社との戦略的パートナーシップによる新規事業立ち上げにチャレンジ

事業収益力強化



新規事業立上げ



AIロボットモデル（複雑なコーディングを必要としないロボットトレーニング技術）による高度な巧緻性を持つ次世代AI搭載型ロボットワーカーの開発・提供
：米国Acumino社と協業



自律型サプライチェーン実行プラットフォーム（サプライチェーンにおける物流データのリアルタイム一元管理と問題発生を事前に防ぐ）の提供
：米CargoSense社との協業

MegaChips

中長期経営計画の進捗状況

事業戦略と財務戦略の双方に取組み、事業収益力の強化と自己資本の適正化を図り、企業価値向上を目指す。

財務戦略

財務の安定性を維持しつつ、資本効率を改善

- SiTime株式の計画的な売却。⇒ 株式売却資金は、成長投資、事業基盤強化、株主還元の原資。
- SiTime株式売却資金の一部を配当原資に充て、継続的な安定配当を実行する。
- 資本効率向上と株主還元に向けて、自己株の取得を実行する。

中長期計画に対して順調に進捗

● SiTime株式の計画的な売却	⇨ 2026年度1Qに40万株の売却(売却益484億円)を実行。 (持ち株比率 13.0% → 10.0%)
● 自己株の取得	⇨ 2026年度約200億円(株数約200万株)の自己株取得見込み。 (約142億円(株数約134万株)の自己株を2026年9月末までに取得済)
● 継続的な安定配当の実行	⇨ 2026年度(2027年3月期)の配当予想　今回修正(増配) 配当予想1株当たり　今回：300円　⇦　期初：260円 (参考：2024年度140円、2025年度250円)

MegaChips

IRポリシー

≫基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なＩＲ活動に取り組みます。

≫情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」（以下、「適時開示規則」）を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えると考えられる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

≫情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えると考えられる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network（ＴＤｎｅｔ） を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。
また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。

IRポリシー

≫将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

≫投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

≫第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

≫ＩＲ沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。　ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス
経営企画室　IRチーム

お問い合わせ
https://www.megachips.co.jp/inquiry/contact/

〒532-0003 大阪市淀川区宮原１丁目１－１ 新大阪阪急ビル
TEL： 06 - 6399 - 2884(代)　FAX： 06 - 6399 - 2886